

きらめき通信 V.01.13

HAPPY

NEW YEAR!



新春のお慶びを申し上げます。

きらめきプロジェクトも早いもので6年間継続する事ができ、平成25年には7年目に突入です。学内ではほぼ定着し、学外でも、その知名度は上がっております。日本循環器学会、日本小児科学会、日本外科学会、日本遺伝学会、日本婦人科学会、小児歯科学会などで紹介してきました。福岡県内の医学部がある福岡大学、久留米大学、産業医科大学とも連携が強くなり、山口大学とは学生交流会でしっかりと情報交換しています。福岡県医師会からは当初より密接に協力戴いており、福岡県や福岡市の男女共同参画センター等、行政とも連携して地域の方々にきらめきの紹介をしてきました。また、昨年度のきらめき講演会では研修指定病院にもきらめきの環を広げる試みを開始しました。このような活動を通じて九州大学病院だけでなく女性医師が働きやすい環境が広がってゆくことを期待しています。

子育て中の女性医師や歯科医師が働きやすい環境を整備するために造った医系地区の学内保育園であるひまわり保育園も利用者が増え、しっかり根付いてきました。まだまだ、考え直さなければならない仕組みが沢山ありますので常に初心にかえて活動を続けてゆきたいと思っております。

皆様のご健勝をお祈りしながら新年のご挨拶を申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター

副センター長 樗木 晶子

九州大学病院 きらめきプロジェクト キャリア支援センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL/FAX: 092-642-5203

MAIL: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>



2013年1月(隔月発行予定)

☆仕事と育児を両立させながら日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクター（医師1名・歯科医師1名）を紹介します。

☆自己紹介

卒後12年目の内科系医師です。夫(内科系医師)と6歳(保育園年長)、3歳、1歳の5人家族です。

☆きらめきプロジェクトに応募させていただくまで

5年の内科研修を修了した後に基礎系の大学院に進学しました。大学院在学中に長女と次女を出産し、産休・育休を含めて5年で終了。大学院終了の翌年に長男を出産し、復帰の仕方を模索している時に研究室のチーフにきらめきプロジェクトを紹介して頂きました。復職にあたり、悩んだのは子育てと仕事のバランスでした。夫婦ともに両親が遠方(他県)であり、比較的時間の融通が利く大学院生時代でも、育児と仕事(研究)の両立は綱渡りの状態でした。突発的な子供の熱発や乳幼児検診、予防接種なども多く、両親の力を借りて(最低でも週に1回は泊まり込みで来てもらい、助けてもらいました)、何とかやり繰りしていました。その為、臨床現場へと戻っていく中で、常勤での勤務(当直含む)には不安があるものの、休職期間が長くなることで、手技を含めた臨床能力が落ちていくことにも心配がありました。そんな私の悩みに答えてくれたのが、今のきらめきプロジェクトです。

☆現在の仕事

週二回は大学(午前・午後)で検査業務に関わっています。検査終了後の検討会で、自分に足りない知識や最新の話題を聞けることが何よりの楽しみです(あまり遅くなる時は子供の迎えの為に出席できません)。それ以外の日は午前中に外勤をこなし、午後は家庭のこをしたり、大学に行って研究・勉強をしたり、と充実した日々を過ごしています。専門医取得に向けて、遅々とした歩みですが頑張っています。

☆最後に

女性医師が多くなってきた現在でも、まだまだ環境が整っていないのかな？と感じることがあります。どうしても手のかかる育児を行いつつもなお、「臨床の現場で勉強したい!」と願う女性医師にとって、このきらめきプロジェクトは、とても魅力的です。採用していただき、同じような環境の女性医師と知り合えたことも、大きな刺激・財産となりました。大変感謝しています。子育て中であっても継続して専門性の高い医療技術を学ぶことが出来る、またそれを支えてくれる多くの医師がいる、多様な働き方を認めてくれる、そんな環境がここ九大だけではなく、どんどん広がっていったらいいな、と切に願います。

☆自己紹介

卒後5年目の歯科医師です。会社員の夫と息子(1歳)の3人家族です。

☆きらめきプロジェクトに応募するまで☆

歯学部卒業後、九大病院で1年間の臨床研修を行ったのち、顔面口腔外科で後期研修医として1年間勤めました。その後一般開業歯科医院に勤務し、妊娠9か月に入った勤務2年目の始めに出産のため退職しました。

元々歯科医師としての経験が浅く、キャリアアップのためにも出産後は早い時期に復職したいと考えていたのですが、息子が先天的な病気を持って誕生したため、もう歯科医師として仕事をするのは無理なのではないかと思っていました。

しかし、本当はまた歯科医師として働きたいことを医局の先生にお話したところ、きらめきプロジェクトを紹介して頂き、応募させていただくことにしました。

☆きらめきプロジェクトに所属してからの毎日

現在は週2日9時過ぎから18時頃まで出勤し、2日のうち半日は口腔総合診療科での口腔ケアにあたり、1日半は顔面口腔外科外来での診療にあたっています。

息子は、九大敷地内のひまわり保育園が快く受け入れてくださり、勤務日は朝ご飯から持参で預けています。

出勤日以外は息子のリハビリやリトミックなどの療育や、病院通い、同じ病気のお子さんを持つ親の会など、何かと出事の多い毎日を送っています。

☆最後に

息子は発達はゆっくりではありますが、彼なりのペースで確実に成長しています。

そんな息子にたくさん手をかけ、様々な経験や刺激を与えてあげたいと思う一方、歯科医師として仕事もしたいと考えていた私が両方叶えることができているのは、息子を心から愛し、私を支えてくれる家族と、理解ある医局の先生方のご協力、そしてきらめき

プロジェクトのようなサポート環境のお蔭と、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

こんにちは。11月28日(水)に開催されました『第3回学生交流会』
～今、きらめいてますか?～の様をお届けいたします。

今回は、ファイナルステージを考える会代表世話人 岩崎瑞枝先生を
演者としてお招きし、個人として、医療人として、どのように死と関わ
っていくのかを学生と共に考えました。山口大学医学部女子医学生が主
体の en-JoY の皆さんも遠くから参加していただきました。

パネルディスカッションでは、学生の進行で医療人の人生の満足度
や、生き方・ワークライフバランスをお弁当に例えて紹介していきまし
た。個性豊かなお弁当が出揃い会場は大いに盛り上がりました。

皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



演者 岩崎瑞枝先生



九州大学病院長 久保千春先生
(当センター長)



前病院長 水田祥代先生



パネルディスカッション



学生・医師交えての
交流懇親会風景



九大アカベラサークルによる
ライブ